

義理と礼儀を重んじる世界観が労働
の選択に与える影響

大垣昌夫研究会

石田恵悟・岡崇文・杉本洋樹・槇野麻由

1. 概要

本稿の研究仮説は義理と礼儀を重んじる世界観は労働と余暇の選択に関連しており、それにより影響を受けている、というものである。世界観とは、もともとは哲学者イマヌエル・カントの用語であり、物事の本質についての根本的かつ認識的、感情的、評価的な前提として、自らの生活を管理するために用いられる概念である。つまり、生活、行動に際してその基盤となると思われる概念を指している。仮説の立証はアンケートの実施とその結果の統計による有意の測定により仮説を立証する。

2. 序論

まずこの仮説の重要性は以下のように説明できる。集団主義的傾向がある日本の企業社会においては、組織で活動を行う上で、円滑な人間関係を形成することが重要であるとされている。また、図1の2011年度における29か国の労働時間の比較を見ても明らかなように、日本人の労働時間は比較的長い。労働時間と世界観の関連という観点からみて、他の諸国と異なる点を考えると、集団での人間関係の形成の仕方に深く根ざしていること、つまり礼儀を重んじることや義理堅いことを美德とする日本人の特徴に気づいた。そこで、義理や礼儀が労働の選好に影響を与えているのではないかという仮説を建てることができると考えた。

仮説研究の意義、重要性という点では、今日、日本の企業には日本国内だけの企業運営だけでなく、諸外国における企業運営が求められ必要とされ始めている。その際、外国人の従業員たちに日本と同様のタスクを課し、労働時間を設定することは種々の問題を引き起こす可能性を孕んでいるであろう。経営側は運営地域出身の社員に、この世界観があるかの有無を見ることで、社員と企業との軋轢を回避することが可能になると考えられる。また、事前にその調査を行うことで、潜在的な労働時間、つまり図1における日本並みの労働時間の確保の可能性も検討することができるだろう。

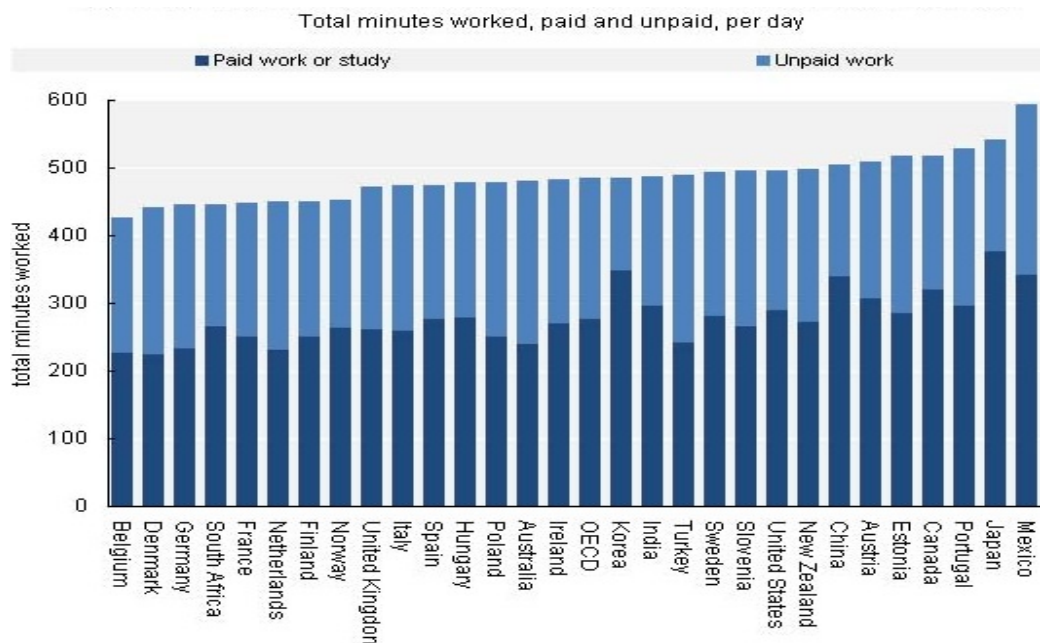


図1 OECD 2011 年度各国の労働時間比
出典：OECD, Society at a Glance 2011

また、日本においても企業に協力的な社員育成に有効性があり、労働時間の延長、短縮どちらの場合でも、この研究は用いることが出来ると思われる。

なお、「義理と礼儀」は次の様に定義した。義理と礼儀の定義は大きく二つに分けられる。第一に対人関係や社会関係の中で、守るべき道理として意識されたもの。第二が集団の中での人間関係上やむを得ずしなければならないことである。どちらの場合でも、自分の直接的な利益や、他者への迎合や阿諛追従のための行動という側面ではなく、純粋な形式として義理・礼儀を尊重しているかということがアンケートで問おうとした部分である。

3. 分析

研究仮説を確かめるため、まずアンケートを作成した。アンケートは説明変数を聞く質問と被説明変数について聞く質問と二種類用意した。アンケートの具体的な内容は以下の通りである。

- Q 1 親しくない人から誕生日のお祝いメールをもらったら、相手の誕生日にお返しのメールをしますか？
- Q 2 新年の挨拶は主に年賀状ですか？メールですか？それともしませんか？
①しない ②メール ③年賀状
- Q 3 メールで新年のあいさつをする場合は、誰に送りますか？
- Q 4 年賀状で新年のあいさつをする場合は、誰に送りますか？
- Q 5 返礼の必要がないことをされたときに、お返しをしようと思いませんか？

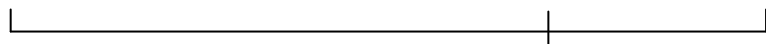
- Q 6 できるだけ知り合いのお店を利用しようと思いますか？
- Q 7 インターネットの接続に来てくれた業者の方におもてなししますか？
- Q 8 初めて行くコンビニで会計をしてもらった際、「ありがとう」などのお礼を言いますか？
- Q 9 毎朝、同じ工事現場で同じ警備員が仕事していたら、通りがけに挨拶をしますか？
- Q 10 貴方のミスで不良品を売りつけてしまいました。その損害は貴方の月収の5%です。会社の方針に従う範囲で、そのうちどれくらいをあなたの私費で補填しようと思いますか？
- Q 12 都会のマンションに引っ越すときに、挨拶をしますか？
- ①しない ②両隣にする ③両隣と真上・真下にする
- Q 13 初めて行くレストランで食事を済ませた跡に、「ごちそうさま」などのお礼を言いますか？
- ①全くしない ②しない ③どちらでもない ④する ⑤毎回する
- Q 14 有給休暇をとる際に、どちらをより重視しますか？
- Q 15 ゆっくり過ごす予定だった休日に出勤を頼まれたら、行きますか？
- Q 16 残業するとしたら1日平均何時間くらい働けますか？
- Q 17 時間のかかる仕事を一日の最後にもっていったり、休日にしようと思いますか？
- Q 18 見たいテレビがある日に、同僚にちょっと仕事を手伝ってほしいと言われたとき、テレビが見られなくなっても手伝いますか？
- Q 19 クライアントの要望を満たす仕事はこなしましたが、クライアントのために労働時間外でもっと良いものにしようと思えますか？その場合、納期まで3日あるとして、何時間くらい使いますか？

Q2 及び Q12、Q13 は選択肢を提示した。残りの質問については、その確率を線分上
に書き入れる方法で回答をいただいた(下図参照)。これは質問の回答を連続変数とし
て得るためであり、回答をダミー変数化する手間を省くと共に、より有意な結果が出
ることを期待してのことである。

※直線で回答するアンケートの答えかたの例

全くそう思わない

完全にそう思う



また、Q1～Q13 は説明変数(義理や礼儀を重要視する度合い)、Q14～Q19 は被説明変
数(労働を好む度合い)についての質問として設定した。Q14～Q19 において、学生や
アルバイトの人については、会社員である仮定の下で回答していただいた。とくに Q17
～Q19 は、サービス残業¹となり給与は支払われない条件が付いている²。

¹ サービス残業とは、自発・非自発的を問わず、給料の支払われない時間外労働として定義する。

² なお、Q11 は「地球は丸いと思いますか」というもので、他の線分で答える質問の傾向を測るために設定したが、今回の分析には使用していないので省略した。この質問は今後の発展研究に活かす予定である。

このアンケートを研究グループの各員が、それぞれアルバイト先や友人などに配布し、回答していただいた。回答者の総数(つまり標本数)は 48 人、うち 18 人は社会人であり、残りの 30 人は学生である。

なお、線分で答える質問に関しては、左端(義理や礼儀に基づく行動を全くしない)から回答のチェックまでの長さを計測し、左端で 0 点、右端で 1 点となるようにした。

選択肢のある質問は、

Q 2 新年の挨拶は主に年賀状ですか?メールですか?それともしませんか?

①しない ②メール :以上 0 点 / ③年賀状 :1 点

Q 1 2 都会のマンションに引っ越すときに、挨拶をしますか?

①しない ②両隣にする :以上 0 点 / ③両隣と真上・真下にする :1 点

Q 1 3 初めて行くレストランで食事を済ませた跡に、「ごちそうさま」などのお礼を言いますか?

①全くしない ②しない ③どちらでもない :以上 0 点

④する ⑤毎回する :1 点

以上のようにダミー変数化³した。

分析は各被説明変数に対し全ての説明変数で分析する重回帰分析、各被説明変数に対し説明変数を 1 つだけで分析する単回帰分析の双方をエクセルで行った。説明変数は値が大きくなるほど義理・礼儀が強くなるように、被説明変数は値が大きくなるほど労働を好むように設定してある。そのため、各分析結果において、係数が正であれば仮定と整合的、負であれば仮定とは逆の結果を表している。

分析の結果、被説明変数において、最低 1 つは有意⁴となる説明変数が存在した。全てを説明するのは冗長なので、特に 3 つの被説明変数について以下で結果を詳述する。

³ 回帰分析によって線形の関数を想定するにあたり、各変数の数字がもつ意味が重要となる。そのため、0 点と 1 点というレベルに落とさないと、分析がうまく立ちゆかなくなる可能性がある。この 0 点と 1 点に分けた変数を「ダミー変数」という。

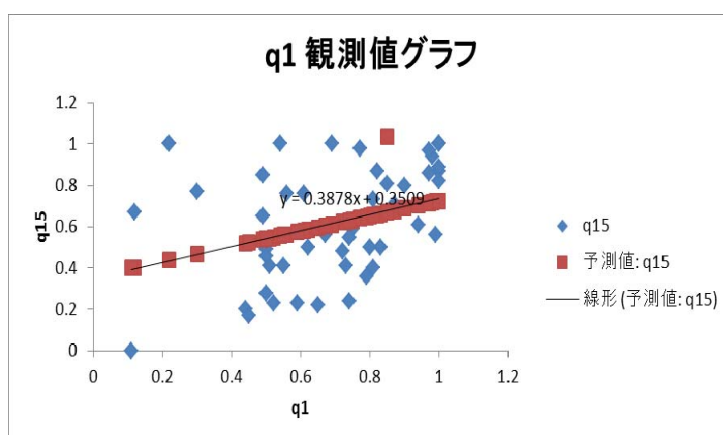
⁴ 有意水準 10%

i. Q15 ゆっくり過ごす予定だった休日に出勤を頼まれたら、行きますか？

義理に関する質問	係数
親しくない人からの誕生日メールにもお返しする	0.382343***
新年の挨拶の形態(しない、メール、年賀状)	0.165833
メールでの新年の挨拶をする割合	0.09847
年賀状での新年の挨拶をする割合	-0.45775***
必要のない返礼をする	-0.056883
知り合いの店を利用する	0.12815
インターネット接続業者をもてなす	-0.24548
初めて行くコンビニで「ありがとう」を言う	0.142262
工事現場の人にあいさつする	0.267844**
自分のミスで生じた損害を何割自費で補填するか	0.08253
マンションに引っ越したらあいさつする	0.119721
初めて行くレストランで「ごちそうさま」を言う	-0.13541

上表が重回帰分析における各質問とその係数、及び有意水準⁵である。前述のとおり、係数が正であれば仮定と整合的である。ここでは Q1:誕生日メールにお返しをするか、と Q4:何割の人に年賀状を出すか、という質問がかなり有意に出ている。しかし、Q4(年賀状)の質問は係数が負であり、仮定とは非整合的である。このことについては後述するとして、次に単回帰分析の結果を見てみたい。

	係数	P値
切片	0.3586	0.00066
お返しするか	0.36564	0.006304

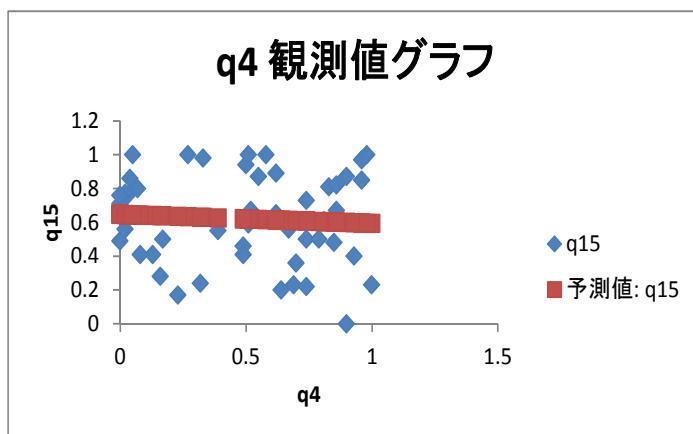


説明変数は Q1:誕生日メールにお返しをするか、という質問である。P値から有意水準 1%で有意であることがわかる。係数も正で、仮定と整合的な結果がでた。この係数をみると、あまり親しくない人からの誕生日メールに対し、まったくお返しをしない人と必ずする人とは、休日出勤をする確率に 36%強の違いがあることがわかる。

⁵*は有意水準 10%、**は有意水準 5%、***は有意水準 1%で有意であることを意味する。

ただしまったくしない人でも、35%の確率で休日出勤を承諾するということも読み取れる。

	係数	P値
切片	0.6466	1.2E-11
どのくらい送るか	-0.05338	0.65798



次に、Q4：年賀状を送る割合についてみてみたい。重回帰分析では係数が負で有意となったが、単回帰分析では有意ではなくなった。他の要素をコントロールすると、年賀状を送る割合は重要な意味をもたないようである。このように変数の組み合わせによっては、このように有意かどうかが変わるので、分析は注意しなくてはならない。

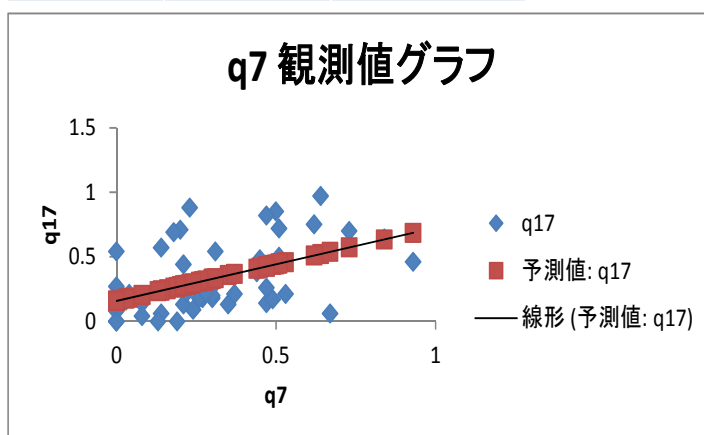
以上全ての分析結果から、休日出勤を頼まれて行くかどうかには、「見知ってはいるが、そこまで親しいわけではない」人に対する義理や礼儀が関係しているとわかる。「親しくない人」からのメールや、「工事現場の作業員」といった、顔や名前を知っている程度で一時的な付き合いの人を想定した質問が有意となったためである。一方で年賀状を送る割合は、(1)年齢、(2)形式にこだわること、という2つの理由から非整合的になったのではないかと考えられる。まず、年齢が高い人ほど年賀状は送るが、地位や発言力があることが多いので休日出勤は少ないのではないかという説明ができる。また、(2)形式にこだわる人は、年賀状は当然送るべきだが、休日は休むためのものだと考える。このような直観的説明が可能である。

ii. Q17 時間のかかる仕事をサービス残業としてやりますか？

義理に関する質問	係数
親しくない人からの誕生日メールにもお返しする	0.063722
新年の挨拶の形態(しない、メール、年賀状)	-0.15492
メールでの新年の挨拶をする割合	-0.01768
年賀状での新年の挨拶をする割合	0.069341
必要のない返礼をする	0.085818
知り合いの店を利用する	-0.1234
インターネット接続業者をもてなす	0.433322**
初めて行くコンビニで「ありがとう」を言う	-0.10882
工事現場の人にあいさつする	0.223578*
自分のミスで生じた損害を何割自費で補填するか	0.390103***
マンションに引っ越したらあいさつする	0.063633
初めて行くレストランで「ごちそうさま」を言う	0.00239

こちらも上と同じく、係数が正であれば仮定と整合的である。前問と同様に 3 つの質問について係数が正で有意であるという結果が得られた。Q7：家に来た業者をもてなすか、Q10：自分のミスをどれくらい補填するか、という質問が特に有意である。単回帰分析をした結果、重回帰分析とは異なり、Q7 のほうが P 値が小さくなるという結果がみられた。

	係数	P値
切片	0.1584	0.008713
もてなすか	0.5663	0.00051



上の表が Q7：家に来た業者をもてなすか、という説明変数を用いた単回帰分析の係数であり、右はそのグラフである⁶。かなり有意な結果が得られた。家にインターネット接続に来た業者に対し、まったくもてなさない人よりも必ずもてなす人は、時間のかかる仕事をサービス残業とする確率が 57%程度高いという説明ができる。

⁶ 参考までに Q10：自分のミスをどれくらい補填するか、という説明変数についても簡単に数字を紹介すると、説明変数の係数は 0.3252、P 値は 0.005163 という結果を得た。

前述の Q15：休日出勤を頼まれたら行くか、に比べると、やはりサービス残業となるためか切片の値は随分小さくなる。しかしそれでも正であることは、日本の労働環境においてサービス残業が珍しいことではない状況をよく表しているのではないか。また、こちらの被説明変数に関しては、「業者」や「会社⁷⁾」といった社会的かつ抽象的な相手に対する義理・礼儀が大きく影響を与えている。

iii. Q19 クライアントのために何時間サービス残業しますか？

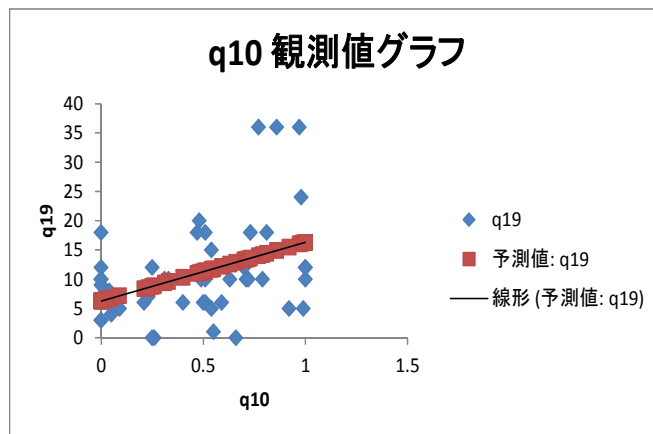
義理に関する質問	係数
親しくない人からの誕生日メールにもお返しする	-0.94093
新年の挨拶の形態(しない、メール、年賀状)	-1.62153
メールでの新年の挨拶をする割合	-2.75949
年賀状での新年の挨拶をする割合	-0.7582
必要のない返礼をする	-2.44718
知り合いの店を利用する	-6.21388
インターネット接続業者をもてなす	1.825044
初めて行くコンビニで「ありがとう」を言う	0.825838
工事現場の人にあいさつする	12.24904***
自分のミスで生じた損害を何割自費で補填するか	9.646885**
マンションに引っ越したらあいさつする	5.895096*
初めて行くレストランで「ごちそうさま」を言う	-3.22915

最後の被説明変数は、クライアントの利益のために最低限の必要量を超えてどの程度サービス残業できるか、というものである。こちらでも Q9：工事現場の作業員に挨拶するか、という質問は有意という結果が出ている。しかしながら、単回帰をしてP値が小さくなったのはQ10:自分のミスをどれくらい補填するか、という質問である⁸⁾。

	係数	P値
切片	6.277	0.00292
どのくらい補填するか	10.03	0.004804

⁷⁾ Q10：自分のミスをどれくらい補填するか、という質問では不良品を売った消費者に対してではなく、自分の会社に対する義理をきいている。会社に義理を感じることで、自分の責任を会社に任せきりにするのではなく、自分の責任として償おうとするためである。

⁸⁾ こちらも参考に Q9：工事現場の作業員に挨拶するか、という説明変数について数字を紹介すると、説明変数の係数は 8.160、P値は 0.01794 という結果を得た。



Q10 で単回帰分析をした結果が上表と右図である。この質問では、被説明変数を数字(何時間使うか)で回答していただいたため、今までの質問とは係数の値が大きく異なるが、有意な結果であることはわかる。自分のミスを全く補填しない人にくらべて 100%補填する人は、クライアントのために 10 時間以上多く仕事をするということがわかる。ここでも切片を見ると、ミスを補填しない人も 6 時間程度ならクライアントのために時間を割くことを厭わないこともわかる。要求に何とか答えられている程度のものよりも、自分の時間を削っても質の良いものを提供しようとするのは共通のことのようだ。

この被説明変数でも、社会的な相手に対する義理や礼儀が大きく関係しているようだ。さらに単回帰分析をすると、Q8：コンビニ店員に挨拶する、という質問が有意水準 10%で有意である。Q11：マンションで何部屋に挨拶するか、という質問も有意水準は 15%ではあるがある程度意味のある結果となった。初対面の相手であっても、義理や礼儀を通そうとする行動も関係することもわかる。

4. 結論

研究結果と考察より、「義理や礼儀を重要だと考えている人ほど積極的に労働を行う」ということが得られた。したがって、序論で述べた「義理と礼儀を重んじる世界観は労働と余暇の選択に関連している」という仮説は正しいことが示された。これは、義理や礼儀を重んじる世界観を持つ人ほど、会社への義理を感じたり、集団での人間関係を円滑にしようと務めるため、積極的にサービス残業を行ったり、余暇の時間をさいてでも労働に取り組む傾向があるためであると考えられる。

上記の結論から以下の様な形で研究を役立てることが可能であると考えられる。グローバル化が進んでいる現在の労働環境では、日本の企業は日本国内だけでなく、海外における企業運営が必要とされている。その際、外国人の従業員に日本と同様のタスクを課し、労働時間を設定することは種々の問題を引き起こす可能性を孕んでいる。日本人の義理と礼儀を重んじる世界観が労働の選好に影響を与えるという

研究結果に基づき、企業の海外進出時、社員教育などでこの世界観を理解させることで、企業運営が日本同様に運ぶことができる可能性がある。あるいは、経営側は運営地域の社員に対して、義理や礼儀を重んじる世界観の有無を調査し、その結果を踏まえてマネジメントすることで、社員と企業との大きな軋轢を回避することが可能である。また、日本においても義理と礼儀を重んじる世界観を重視し、会社に義理を感じるような雰囲気や労働環境作り、福利厚生の実施を行うことは企業に協力的な人材を育てることにつながり、労働の質が高まることで企業、労働者双方に利益をもたらす可能性がある。（ただし、社員の権利、自由意思を阻害しないという倫理的な配慮が前提である。）さらに、企業は義理や礼儀を重んじる世界観を考慮した上で、有給休暇や残業の制度を組み立てる必要がある。仮に有給休暇や残業の制度がシステム上優れているように見えても、義理や礼儀を重んじる世界観が強い企業では、社員は会社での人間関係を重視するあまり、そうした制度を有効に利用することは難しいと思われる。したがって、企業が義理や礼儀を重んじる世界観を考慮した制度設計を行うことは社員が働きやすい環境を真の意味で整えることになり、また、ワークライフバランスという観点からも重要であると考えられる。

将来の研究課題としてはアンケート対象者の「仕事に対する志向」を調査し、その結果を分析に組み込むことで、「与えられた仕事に強いやりがいを感じているから労働に積極的になる」という義理や礼儀を重んじる世界観とは独立した要因の影響を小さくすることが挙げられる。具体的には説明変数の質問に「今の仕事に生きがいを感じていますか」などの質問を追加し、さらに多くの標本をとることで、より精度の高い結果を求めていきたい。また、世代別に調査することによって、義理や礼儀の世界観が日本社会においてどのように変化していくのか、それに伴いどのような労働環境になっていくのかを推測していきたい。